



われらの森山校

志布志市立森山小学校だより NO.11 令和8年3月19日発行
学校ホームページ <https://424.ciao.jp/moriyama-els/>



薬物乱用防止教室(3月5日)

希望を胸に 進もう!

校長 古石美紀

弥生3月。卒業式を前に、森山小の花壇には色とりどりの花々が咲き誇っています。学校の環境整備に尽力してくださっている学校助手の谷山さんが丹精込めて育ててくれたヒメキンギョソウやツルコザクラ、その他何種類もの花苗は、氷点下になる森山の冬を越え、すくすくと育ち、今、青空に向かって可愛らしい花を咲かせています。また、鹿屋農業高校の生徒さんたちと森山の子どもたちが一緒に植えたアリッサム、ビオラ、パンジー、クリサンセマムなども、黄色に紫、青、白とまるで花の絨毯のように花壇を埋め尽くしています。大事に育てられたこの花々が、数日後の卒業式を美しく彩ってくれるのが楽しみです。

今年度も森山小学校では様々な行事が行われました。そのほとんどで活躍してくださったのが司書の山中さん。いつもカメラを手に、行事の様子や子どもたちの表情を撮影してくださいました。それだけでなく、そのデータをすぐに全職員が利用できるようフォルダにまとめてくださるのです。職員みんな本当に助かっています。先日、その様々な写真を眺めながら1年間を振り返っていたときに「卒業式開始までの待ち時間に今年度の行事の様子を見てもらおう」と思いつきました。私、データを加工したり工夫を施したりする技術がないので、写真をそのまま映すだけになりますが、これまた、数日後の卒業式で子どもたちの様子を皆さんにご覧いただくのが楽しみです。

令和7年の森山小職員は全部で11人。先に紹介した谷山さんや山中さんだけでなく、11人みんなが、それぞれの立場で陰になり日向になり、森山小の子どもたちをしっかりと支えてきました。そして「森山イレブン」が互いに協力

し合い、様々な教育活動に邁進してきました。子どもたちの満足そうな顔を見て、やってよかったと胸を張って言える活動ばかりでしたが、上手くいかなかったことや、残念だったこともありました。しかし、常に子どもたちのためにと一生懸命に取り組んだ結果です。校長としては職員や子どもたちの頑張りに満足の1年間でした。今年度の締めくくり、数日後の卒業式・修了式をみんな笑顔で迎えたいと思います。

そして何より保護者・地域の皆様。至らぬ点多く、ご迷惑をお掛けすることもありましたが、皆様のご協力のおかげで、卒業式・修了式を無事迎えることができそうです。この一年、子どもたちは日々の学習や行事、学校生活の中で、友達と関わり合い、時には悩み、互いに励まし合いながら一歩ずつ成長してきました。そして、その中で自分のよさに気づき、友達の思いを大切にし、森山小を誇りに思う姿が、さまざまな場面で見られるようになってきました。このような子どもたちの成長は、決して学校だけの力づくのものではありません。日々温かく見守り、励まし、支えてくださった保護者の皆様、地域の皆様のおかげです。来年度も本校の教育目標「大好き自分・大好きみんな・大好き森山と自信をもって言える子どもの育成」に更に努めて参りますので、今後とも、本校教育へのご理解とご協力をよろしくお願い致します。

まもなく子どもたちは新しい学年、新しい学びのステージへと進みます。不安と期待で胸がいっぱいかと思います。今年一年で身に付けた自信と仲間を大切にする心を土台に、来年度も精いっぱい輝いてほしいと願っています。

~Let's move forward with hope.~